

## 幅広い分野で事業展開

令和4年4月の小学校再編に伴い、小中学校給食費を無償化し、保護者の経済的負担の軽減に取り組みと同時に、川俣小学校の体育施設（プール及び体育館）の設備更新を行いました。

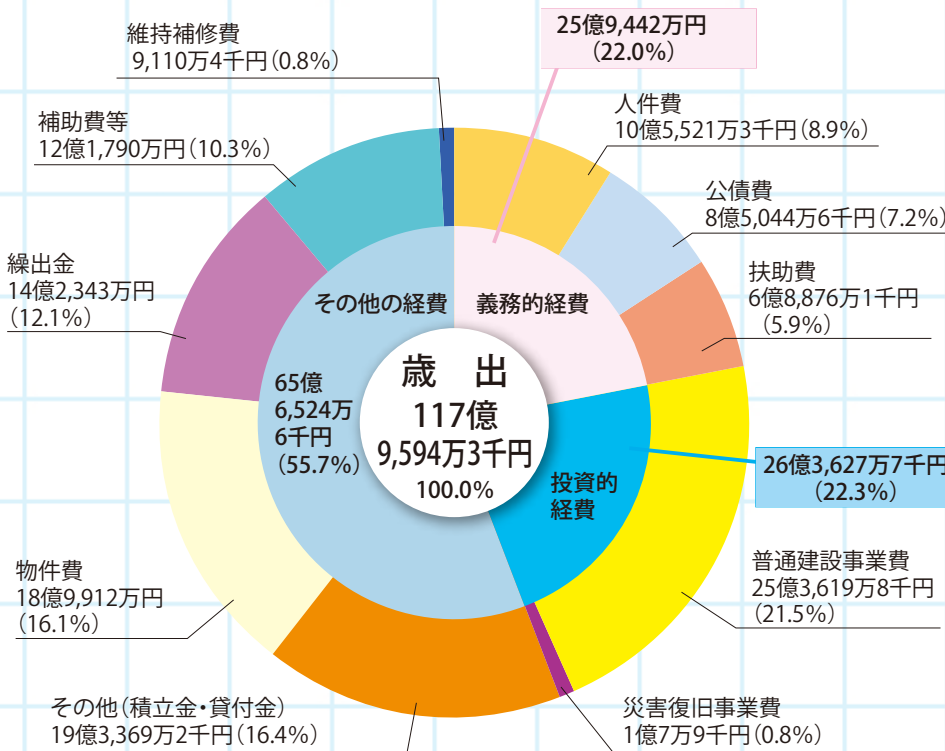
また、令和5年4月の開設に向けた認定こども園整備事業を旧川俣南小学校の改修という形で実施し、園児が安全に過ごせる環境づくりに努めました。さらには、前年度に着工した川俣町中央公民館の耐震補強・施設改修工事が完了し、リニューアルオープン記念事業として、東京2020金メダリストの見延和靖氏や綾小路きみまろ氏を招致しました。

復興事業においては、国の福島定住等緊急支援事業を活用した地域魅力向上・発信事業において「かわまた里山ツアーリズム」を実施し、モニターツアーとプロモーション動画の配信を行い、町外在住者が来町し、自然と食を体験できるようなPR活動を行いました。

## 迅速かつ細やかな対応の実現

令和4年度は、前年度から続く新型コロナウイルス感染症感染拡大に加え、海外情勢等による原油・エネルギー価格、物価高騰が町民生活に大きな影響を与えました。これらの緊急対策として、国庫支出金を最大限に活用して、町民

一人あたり10,000円の元気発進商品券の発行や、低所得の子育て世帯や町民税非課税世帯への給付金の支給、農業における施設園芸用燃油、肥料、飼料の価格高騰補助金の交付、町内事業者に対するエネルギー高騰対策事業者支援給付金の支給など各方面にわたるきめ細かな対応を行いました。



## 特別会計

特定の事業については、より収支を明確にするために一般会計とは別に会計項目を設けています。特別会計の決算は次の表のとおりです。

| 特別会計名      | 歳入           | 歳出           | 形式収支        | 特別会計名    | 歳入          | 歳出        | 形式収支      |
|------------|--------------|--------------|-------------|----------|-------------|-----------|-----------|
| 国保会計（事業）   | 15億7,548万1千円 | 15億2,213万4千円 | 5,334万7千円   | 小島財産区会計  | 1,323万4千円   | 13万円      | 1,310万4千円 |
| 国保会計（施設）   | 1,433万1千円    | 1,433万1千円    | 0円          | 飯坂財産区会計  | 2,096万3千円   | 17万1千円    | 2,079万2千円 |
| 介護保険会計     | 21億355万8千円   | 19億8,108万6千円 | 1億2,247万2千円 | 大綱木財産区会計 | 91万5千円      | 8万4千円     | 83万1千円    |
| 後期高齢者医療会計  | 1億9,456万8千円  | 1億8,896万2千円  | 560万6千円     | 小綱木財産区会計 | 526万円       | 9万6千円     | 516万4千円   |
| 奨学資金会計     | 1,656万7千円    | 1,656万7千円    | 0円          | 山木屋財産区会計 | 24万4千円      | 9万2千円     | 15万2千円    |
| 簡易水道会計     | 888万5千円      | 717万9千円      | 170万6千円     | 水道事業会計   | 事業収益        | 事業費用      | 当年度純利益    |
| 工業団地造成事業会計 | 7億2,615万9千円  | 7億2,615万9千円  | 0円          | 損益計算書    | 2億3,924万8千円 | 2億1,602万円 | 2,322万8千円 |

## 町の財政の健全性は？

町の財政の健全性は、全国共通の指標「経常収支比率」を用いて評価できますが、これは数値が低いほど財政に弾力性があり、資金の自由度が高いことを表しています。令和4年度決算においては、前年度より6・9ポイント上昇した88・6%となりました。これらの要因としては、分母となる歳入の経常一般財源の額が、普通交付税及び臨時財政対策債の減に伴い減額となったことによるものです。

また、財政の健全性を示す比率で町の借入金や債務負担行為による支出予定額など、将来町が負担する負債の程度を示す「実質公債費比率」は、前年度の4・4%のまま据え置きとなりました。小学校再編事業、中央公民館施設改修事業、令和元年東日本台風災害復旧費の大型起債による公債費（借金の返済金）の増額の対策として、地方交付税算入額の有利な起債（借金）を行っていることで、実質公債費比率の抑制に努めています。

## 川俣町の財政は昨年に引き続き「健全な状態」

平成19年度から、新しい財政指標を算定し監査委員に審査を受け、その意見を付して議会に報告するとともに公表することが義務付けられました。

一般会計などについては、下表（左）①から④までの指標、公営企業会計は下表（右）に資金不足比率を算定しています。前年度と比べ実質公債費比率は据え置きとなり、将来負担比率は1.9ポイント改善されました。早期健全化基準を大きく下回っており、町の財政は健全な状態といえます。

### 令和4年度決算に基づく「健全化判断比率」

| 区分        | 川俣町の健全化判断比率 |     | 増減   | 早期健全化基準 |
|-----------|-------------|-----|------|---------|
|           | R4          | R3  |      |         |
| ①実質赤字比率   | —           | —   | —    | 15.0    |
| ②連結実質赤字比率 | —           | —   | —    | 20.0    |
| ③実質公債費比率  | 4.4         | 4.4 | ±0   | 25.0    |
| ④将来負担比率   | —           | 1.9 | ▲1.9 | 350.0   |

※実質赤字額及び連結実質赤字額がない場合は「—」で表示

### 令和4年度決算に基づく「財政力指数」

| 区分    | R4   | R3   |
|-------|------|------|
| 財政力指数 | 0.34 | 0.36 |

### 令和4年度決算に基づく「経常収支比率」

| 区分     | R4   | R3   |
|--------|------|------|
| 経常収支比率 | 88.6 | 81.7 |

### 令和4年度決算に基づく「資金不足比率」

| 特別会計の名称      | 川俣町の資金不足比率 |    | 増減 | 経営健全化基準 |
|--------------|------------|----|----|---------|
|              | R4         | R3 |    |         |
| 水道事業会計       | —          | —  | —  | 20.0    |
| 簡易水道事業特別会計   | —          | —  | —  | 20.0    |
| 工業団地造成事業特別会計 | —          | —  | —  | 20.0    |

※資金不足がない場合は「—」で表示

## 用語説明

■財政力指数（3か年の平均）

財政の豊かさを示す「1」に近いほど財政に余裕があると見なされ、「1」を超える自治体には、交付税が交付されない。

■経常収支比率

数値が低いほど自由に新規事業が実施でき、高いほど決まった事業にしか財源を支出できない。

■実質赤字比率

一般会計などの実質収支の合計が赤字となった場合、標準財政規模（※）に対する赤字額の割合（家庭に例えれば、年収に占める年間の赤字の割合）。

■連結実質赤字比率

一般会計、特別会計の実質収支額、公営企業の資金剰余（不足）額の合計が赤字となった場合、標準財政規模に対する赤字額の割合。

■実質公債費比率

一般会計などが負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する割合の3か年平均値（家庭に例えれば、年収に占める年間の借金返済額の割合）。

■将来負担比率

一般会計などが将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する割合（家庭に例えれば、負債残高が年収の何年分に相当するか示した割合）。